

第 1 号議案 役員の改選について

南信州地域交通問題協議会規約第 9 条第 1 項により改選を行う。

平成 27～28 年度南信州地域交通問題協議会役員

役職名	所属名	氏名	備考
会長			
副会長			
監事			
監事			

(参考)

平成 25～26 年度南信州地域交通問題協議会役員

[敬称略]

役職名	所属名	氏名	備考
会長	南信州広域連合	牧野 光朗	南信州広域連合長
副会長	南信州広域連合議会議員	清水 勇	総務・文教・消防 検討委員長
監事	飯田商工会議所	柴田 忠昭	会 頭
監事	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	福田 富廣	会 長

第 1 号議案 役員の改選について

南信州地域交通問題協議会規約第 9 条第 1 項により改選を行う。

(事務局案)

平成 27～28 年度南信州地域交通問題協議会役員 (案)

[敬称略]

役職名	所属名	氏名	備考
会長	南信州広域連合	牧野 光朗	南信州広域連合長
副会長	南信州広域連合議会議員	吉川 秋利	総務・文教・消防 検討委員長
監事	飯田商工会議所	柴田 忠昭	会頭
監事	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	福田 富廣	会長

(参考)

平成 25～26 年度南信州地域交通問題協議会役員

[敬称略]

役職名	所属名	氏名	備考
会長	南信州広域連合	牧野 光朗	南信州広域連合長
副会長	南信州広域連合議会議員	清水 勇	総務・文教・消防 検討委員長
監事	飯田商工会議所	柴田 忠昭	会頭
監事	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	福田 富廣	会長

第 2 号議案 平成 26 年度事業報告について

1 南信州公共交通システム認知度向上事業

圏域住民に「南信州公共交通システム」を広く周知し、自家用車主体の生活様式から、公共交通を交通手段のひとつの選択肢と意識付けするための利用促進・転換事業の推進を図った。

(1) 南信州圏域バス路線の整理（路線カラー、ナンバリングの整理） 別紙資料参照・・・P. 5

(2) 広報誌の発行〔No. 7（7月号）・No. 8（3月号）発行、46,700部全戸配布・一部組合回覧〕

ア のってみまいか公共交通No. 7号掲載内容

「電車やバスで行く夏休み家族遠足プラン（おでかけプラン第3弾）」

(ア) 天竜川総合学習館かわらんべ（飯田市）

(イ) 飯田市美術博物館（飯田市）

イ のってみまいか公共交通No. 8号掲載内容

(ア) バス路線カラー、ナンバリングの整理について

(イ) 公共交通を使ったおでかけプラン第4弾「満蒙開拓平和記念館（阿智村）」

2 情報提供事業

(1) 「南信州公共交通インフォメーション」を活用し当圏域の公共交通情報の発信や、利用者に分かりやすい路線図、時刻表を作成することで公共交通利用者の利便性向上につなげる。

平成 26 年度サイト訪問者数 1,442 人

(2) 北部・南部・西部方面別の乗継時刻表（JR 飯田線⇔バス、バス⇔バス）

地域協働推進事業を活用し、北部・南部・西部方向別の乗継時刻表を作成し全戸（飯田市除く）及び関係機関へ配付した。（24,000部）

3 各協議会及び市町村等関係各機関と連携した既存公共交通の改善事業・利便性向上事業

公共交通をより利用しやすいものとするため、当圏域における関係各機関と連携し改善を図る。

(1) 市町村担当者会議

地域公共交通網形成計画に係る担当者会議（平成 27 年 2 月 10 日）を開催。

(2) 関係各機関との情報交換等の実施により、既存公共交通の運行見直しや乗り継ぎの改善を図った。

バス結節点ダイヤ調整会議（平成 26 年 12 月 10 日）を開催し、結節点におけるシームレスダイヤについて調整を図った。

(3) 各関係機関のはたすべき役割に対し側面的支援または協働実施する。

各地域公共交通協議会への出席、利用促進・利用転換事業の推進

4 公共交通利用促進・利用転換事業

ターゲットごとに利用促進、利用転換事業を実施し利用者拡大を図る。

(1) エコ通勤

飯田商工会議所、長野県商工会連合会、地域ぐるみ環境 ISO 研究会と連携しエコ通勤の啓発活動や勸奨を行った。

ア 公共交通で通勤可能な企業 68 社を対象にエコ通勤に関するアンケートを実施。

イ エコ通勤週間の実施。(10月20日～10月26日7日間)

参加協力企業 エムアイ電機(県)、(株)タニガワ(中村)、夏目光学(株)(県)

・公共交通を利用し通勤可能な方をエコ通勤モニターとして登録し、終了後公共交通通勤に関するアンケートを実施。結果として、現在高校生の登校に対応したダイヤを設定しているため、出勤時間や残業に対応した幅広い運行時間が必要であることが課題となった。

(2) 地域協働推進事業を活用し中学生及び高齢者を対象としたバスのワークショップを開催
実施中学校：根羽中学校、天龍村中学校、豊丘中学校、大鹿中学校(対象者数 260 人)



(3) 新入生(高校1年生)に対する公共交通利用啓発活動

南信州圏域の私立高校を含む8高校におけるオリエンテーションの際に、新入生へ公共交通の利用案内チラシを配付。(配付枚数 1,727 枚)

5 北部地区結節点停留所整備事業

地域協働推進事業を活用し、交流センター〔喬木村〕(北部地区結節点停留所)に総合案内板を設置。



交流センター結節点停留所総合案内板(喬木村)

6 JR 飯田線の利用促進事業

JR 飯田線活性化期成同盟会をはじめとする、沿線市町村、関係各機関とともに維持確保に向けた利用促進の取り組みの検討・啓発活動を行う。

(1) 北部・南部・西部方面別の乗継時刻表（JR 飯田線⇔バス、バス⇔バス）【再掲】

北部・南部・西部方向別の乗継時刻表を作成し全戸（飯田市除く）及び関係機関へ配付した。（24,000部）

南信州公共交通システム バス路線カラー・ナンバリング(デマンドを除く)

路線体系	路線名	市町村	参考:元のカラー(現在、各市町村HP、総合案内板、南信州公共交通インフォメーションで使われている色)	ナンバリング	webカラーコード#	ナンバリングの意味
基幹	阿島線	飯田		E0	ff3300	東部の基幹
	駒場線	飯田		W0	〃	西部の基幹
	南部公共バス 阿南線	阿南		S0	〃	南部の基幹
准基幹	広域バス 遠山郷線	飯田		E1	660000	
	広域バス 平岡線	飯田		E2	〃	
	西部コミュニティバス	根羽		W1	〃	
	大鹿線	大鹿		M0	〃	
	市民バス循環線	飯田		C1	〃	市民(Citizen)の時計回り1番目
	南部公共バス 温田線	阿南		S1	〃	阿南線(S0)に接続する准基幹路線
支線	市民バス久堅線	飯田		C2	333399	市民(Citizen)の時計回り2番目
	市民バス千代線	飯田		C3	ff66cc	市民(Citizen)の時計回り3番目
	市民バス三穂線	飯田		C4	ffff00	市民(Citizen)の時計回り4番目
	市民バス大休線	飯田		C5	990066	市民(Citizen)の時計回り5番目
	まつかわフルーツバス 上片桐循環線	松川		M1	0066ff	松川(Matsukawa)の時計回り1番目
	まつかわフルーツバス 部奈線	松川		M2	ff9900	松川(Matsukawa)の時計回り2番目
	まつかわフーツバス 生田循環線 峠部奈線	松川		M3	993399	松川(Matsukawa)の時計回り3番目
	まつかわフーツバス 生田循環線 中山柄山線	松川		M3	66ccff	〃
	まつかわフーツバス 生田循環線 社協前～農協生田支所間	松川		M3	333366	〃
	まつかわフルーツバス 生田線	松川		M4	ff6699	松川(Matsukawa)の時計回り4番目
	まつかわフルーツバス大島循環線	松川		M5	009933	松川(Matsukawa)の時計回り5番目
	南部公共バス 泰阜線	泰阜		S2	3366cc	阿南線(S0)に接続する時計回り1番目
	阿智村バス 伍和・智里東方面巡回	阿智		W2	ff6633	駒場線(W0)に接続する時計回り1番目
	阿智村バス 浪合巡回	阿智		W3	006666	駒場線(W0)に接続する時計回り2番目
	阿智村バス 春日・智里西方面巡回	阿智		W4	663399	駒場線(W0)に接続する時計回り3番目
	阿智村バス 清内路巡回	阿智		W5	ff66cc	駒場線(W0)に接続する時計回り4番目
	天龍村営バス	天龍		R1	村指定カラー	天龍の龍(Ryu)
	喬木大島線 せせらぎ	喬木		E4	33cccc	阿島線(E0)に接続する時計回り1番目
	氏乗線 そよかぜ	喬木		E3	cc3399	阿島線(E0)に接続する時計回り2番目
	滝川阿島北県道線	豊丘		T1	ff9900	豊丘(Toyooka)の時計回り1番目
	堀越線	豊丘		T2	336699	豊丘(Toyooka)の時計回り2番目
	佐原線	豊丘		T3	66cc33	豊丘(Toyooka)の時計回り3番目
福島線	豊丘		T4	996633	豊丘(Toyooka)の時計回り4番目	
壬生沢福島線	豊丘		T5	ffff00	豊丘(Toyooka)の時計回り5番目	
壬生沢線	豊丘		T6	990066	豊丘(Toyooka)の時計回り6番目	

平成26年度 南信州地域交通問題協議会 会計決算書

収入金額	10,209,371 円
支出金額	8,089,475 円
差引残額	2,119,896 円

(収入)

(単位: 円)

科目	予算額(当初)	流用額	補正予算	予算額(変更)	決算額	比較増減	備考
負担金	3,291,000	0	0	3,291,000	3,291,000	0	南信州広域連合負担金 3,291,000
地域協働推進 事業補助金	0	0	2,699,136	2,699,136	2,699,136	0	国庫補助 結節点整備事業、ワーキング、時刻 表(8市町村)
市町村負担金	0	0	3,256,632	3,256,632	3,256,632	0	時刻表(地域協働推進事業) 飯田市 2,674,080、松川町 269,352 阿南町・下條村・売木村・天龍村・泰阜村 239,760、阿智村 7,3440
繰越金	646,932	0	0	646,932	646,932	0	前年度繰越金
諸収入	1,068	0	315,000	316,068	315,671	△ 397	利息、製品購入費戻入金
計	3,939,000	0	6,270,768	10,209,768	10,209,371	△ 397	

(支出)

(単位: 円)

科目	予算額	流用額	補正予算	予算額	決算額	比較増減	備考
運営費	423,000	100,000	0	523,000	249,905	△ 273,095	
報償費	248,000	0	0	248,000	123,861	△ 124,139	委員等報償費(総会2回)
旅費	130,000	0	0	130,000	44,443	△ 85,557	委員旅費(総会2回)
消耗品・事務費	45,000	100,000	0	145,000	81,601	△ 63,399	紙代、通信運搬費、振込手 数料等、事業費より100,000 円充当
事業費	3,510,000	-100,000	5,955,768	9,365,768	7,839,570	△ 1,526,198	利用促進・利用転換事業(委託、広報誌、結節点整備 事業、ワーキング、時刻表等) 第2次計画策定(製本印刷、概要版印刷) 消耗品・事務費へ100,000円流用
市町村戻入金	0	0	1,628,316	1,628,316	1,628,316	0	地域協働推進事業補助金 飯田市1,337,040、松川町 134,676 阿南町・下條村・売木村・天龍村・泰阜村119,880、阿 智村36,720
予備費	6,000	0	0	6,000	0	△ 6,000	支出なし
計	3,939,000	100,000	5,955,768	9,894,768	8,089,475	△ 1,805,293	

差引残高 2,119,896 円は次年度に繰り越します。

第 3 号議案 平成 27 年度事業計画（案）について

1 南信州公共交通システム認知度向上事業 事業費 500 千円

圏域住民に「南信州公共交通システム」を広く周知し、自家用車主体の生活様式から、公共交通を交通手段のひとつの選択肢と意識付けするための利用促進・転換事業の推進を行う。

(1) 広報誌の発行 (No.9 号 H27 年 7 月発行、No.10 号 H28 年 1 月発行)

『のってみまいか公共交通』を発行し公共交通利用への関心を高める。

(2) 飯田広域消防と連携しバスの写生大会、乗り方教室を開催する。

(3) バス停留所の統一化に関する研究を行う。

2 情報提供事業 事業費 600 千円

(1) タブレットやスマートホンに対応するため「南信州公共交通インフォメーション」の改修を行い、当圏域の公共交通の情報発信や利用者に分かりやすい路線図・時刻表（目的別時刻表等）を提供し公共交通利用者の利便性向上につなげる。

3 各協議会及び市町村等関係各機関と連携した、既存公共交通の改善事業・利便性向上事業

事業費 1,800 千円

公共交通をより利用しやすいものとするため、当圏域における関係各機関と連携し改善を図る。

(1) 圏域全体の路線バスカラー・ナンバリングを方向幕及び時刻表へ反映する。

(2) 時刻表デザインの統一化に関する研究

(3) 関係各機関との情報交換等の実施により、既存公共交通の運行見直しや乗り継ぎの改善を図る。

(4) 各関係機関のはたすべき役割に対し側面的支援または協働実施する。

(5) リニア中央新幹線開業を見据えた新たな公共交通網の基盤づくりに関する検討・研究を行う。

4 公共交通利用促進・利用転換事業 事業費 1,000 千円

ターゲットごとに利用促進、利用転換事業を実施し利用者拡大を図る。

(1) エコ通勤の啓発活動や研究を行う。

(2) バスのワークショップの開催。

(3) 名古屋大学と連携し利用促進・利用転換につながる事業の検討を行う。

5 結節点停留所整備事業 事業費 500 千円

中心地の拠点である市立病院結節点停留所に乗継案内の整備を図る。

6 JR 飯田線の利用促進事業 事業費 100 千円

JR 飯田線活性化期成同盟会をはじめとする、沿線市町村、関係各機関とともに維持確保に向けた利用促進の取り組みの検討・啓発活動を行う。

7 地域公共交通網形成計画策定 事業費 100 千円

(1) 圏域全体の公共交通の計画として関係機関、市町村と連携し策定する。

(2) 路線の課題を整理し再編計画の策定を検討するための研究を行う。

第3号議案 平成27年度予算(案)について

平成27年度 南信州地域交通問題協議会 会計予算(案)

収入金額	5,343,000 円
支出金額	5,343,000 円
差引残額	0 円

(収入)

科目	H27予算	H26予算	比較増減	備考
負担金	3,223,000	3,291,000	△ 68,000	南信州広域連合負担金 3,223千円
繰越金	2,119,896	646,932	1,472,964	前年度繰越金
諸収入	104	1,068	△ 964	
計	5,343,000	3,939,000	1,404,000	

(支出)

(単位：円)

科目	H27予算	H26予算	比較増減	備考
運営費	733,000	423,000	310,000	
報償費	435,000	248,000	187,000	委員等報償費等
旅費	205,000	130,000	75,000	講師・委員の旅費、交通費等
消耗品・事務費	93,000	45,000	48,000	通信運搬費、振込手数料
事業費	4,600,000	3,510,000	1,090,000	1 南信州公共交通システム認知度向上事業 500千円 2 情報提供事業 600千円 3 関係機関との連携、改善事業 1,800千円 4 公共交通利用促進・利用転換事業 1,000千円 5 結節点整備事業 500千円 6 JR飯田線の利用促進事業 100千円 7 地域公共交通網形成計画策定 100千円
予備費	10,000	6,000	4,000	
計	5,343,000	3,939,000	1,404,000	

予算の執行上必要があるときは、科目間の流用ができるものとする。

地域公共交通網形成計画の策定方針（案）

資料 4

交通政策基本法

国が策定

現行計画

南信州地域公共交通総合連携計画

追加項目

- ★地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築（現行計画は既を含んでいる）
- ★コンパクトシティの実現に向けたまちづくりとの連携（必ずしも取り組まなくてもよい旨が国から示されている）

現行計画＋追加項目

追加項目

- 1 リニア時代に向けての取り組み
従来の「住民」の移動手段の機能に加えて「他地域からの利用者」の利便性向上を図る交通環境の検討
(1) 結節点の小さな拠点としての整備及び市町村の拠点との関連性の検討
(2) 公共交通を利用した市町村へのアクセス方法の研究と試行
- 2 各協議会における公共交通再編

「南信州交通問題協議会」で策定

南信州地域公共交通網形成計画

平成27年度
策定

計画終了年度 平成30年度（現行計画と同様）

国土交通大臣へ届出

「研究会」を設置し策定を支援

地域公共交通特定事業

協議会で協議し「市町村」が策定

事業者等が「市町村」の支援を受け実施

地域公共交通再編実施計画

地域公共交通再編事業

国土交通大臣が認定

形成計画策定委員会名簿

H27年4月～H28年3月 (敬称略)

区 分	所属団体等	役職	氏名
公共交通事業者	東海旅客鉄道(株)飯田支店	助役	村田 利光
	信南交通(株)	高速乗合課長	林 浩 人
	伊那バス(株)松川営業所	所長	小松 直樹
	長野県タクシー協会下伊那支部 (南信州広域タクシー)	支部長	鈴木 佳史
学校関係	下伊那地区高等学校長会 (副会長:長野県飯田OIDE長姫高等学校長)	校長	上野 敏
商工観光関係	飯田商工会議所総務部	事業課長	松村 憲
	長野県商工会連合会南信州支部広域協議会	チームリーダー	清水 衆一
	(株)南信州観光公社	代表取締役社長	高橋 充
学識経験者等	名古屋大学大学院	環境学研究科 都市環境学専攻 准教授	加藤 博和
行 政	飯田市リニア推進部リニア推進課	公共交通係長	木下 一
	北部代表(喬木村企画財政係)	担当者	浦野 将昂
	西部地区代表(阿智村総務課)	主事補	沖村 信繁
	南部地区代表(阿南町) 〔下伊那南部地域公共交通対策協議会〕	庶務係長	宮島 正樹
	南信州広域連合	事務局次長	塚平 裕

形成計画策定に向けたスケジュール(案)

		準備期間	計画策定期間											計画実施始期	
		平成26年度	平成27年度											平成28年度	
時限		計画策定準備期間			計画策定期間									計画推進準備期間	
役割	月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
事務局	策定に向けた動き	公共交通の計画に係る情報の整理	・連携計画の確認及び形成計画策定に向けた情報の整理	・連携計画の確認 ・形成計画(案)の作成	形成計画(案)作成	追加事項及び評価項目(案)作成	形成計画(案)作成	・利用者インタビュー等 ・形成計画(案)作成	・利用者インタビュー等 ・形成計画(案)作成	形成計画(案)作成	パブリックコメント	形成計画(案)の修正	・連合議会への報告 ・連合会議への報告	計画推進実施準備	計画実施始期 →
名古屋大学	策定に向けた動き	公共交通の計画に係る相談・支援	計画策定に係る支援	・連携計画の確認 ・形成計画策定に係る支援	形成計画策定に係る支援	追加事項及び評価項目(案)作成支援	利用者インタビュー等項目作成支援	形成計画(案)の作成支援	・形成計画(案)の作成支援 ・調査結果分析支援	・形成計画(案)の作成支援 ・調査結果分析支援		・形成計画(案)の作成支援	・形成計画(案)の作成支援	計画推進に向けた支援	
南信州地域交通問題協議会	会議	◇第2回協議会総会			◇第1回協議会総会(6月22日)							◇第2回協議会総会			◇第3回協議会総会
	内容及び策定に向けた動き	・中間事業報告 ・計画策定について			・事業報告及び事業計画(案)について ・形成計画の策定方針についてほか							・形成計画(案)中間報告 ・生活交通確保維持改善計画の評価についてほか			・中間事業報告及び決算見込について ・形成計画(案)の承認
計画策定委員会(幹事会)	会議			◇第1回計画策定委員会(5月18日)				◇第2回計画策定委員会					◇第3回計画策定委員会		
	内容及び策定に向けた動き	・計画策定依頼		形成計画策定に係る説明ほか				形成計画(案)の検討					形成計画(案)最終検討		
市町村担当者会議	会議		◇第1回市町村担当者会議(4月22日)					◇第2回市町村担当者会議					◇第3回市町村担当者会議		
	内容及び策定に向けた動き		・形成計画策定について ・再編計画策定について					・追加事項及び評価項目(案)の検討 ・インタビュー項目の検討ほか					形成計画(案)最終検討		

飯田市 生活交通確保維持改善計画

<地域間幹線系統>

・生活交通確保維持改善計画（平成 28～30 年度） . . . P 1～4

・表 1 . . . P 5

<地域内フィーダー系統>

・生活交通確保維持改善計画（平成 28～30 年度） . . . P 6～10

・表 1 . . . P 11～12

松川町 生活交通確保維持改善計画

<地域内フィーダー系統>

- ・生活交通確保維持改善計画（平成 28～30 年度）・・・ P 1～4
- ・表 1 ・・・ P 5

松川町地域公共交通対策協議会

下伊那郡南部地域 生活交通確保維持改善計画

<地域内フィーダー系統>

- ・生活交通確保維持改善計画（平成 28～30 年度）・・・ P 1～7
- ・表 1 ・・・ P 8
- ・表 6 ・・・ P 9～10

下伊那南部地域公共交通対策協議会

阿智村地域 生活交通確保維持改善計画

<地域内フィーダー系統>

- ・生活交通確保維持改善計画（平成 28～30 年度）・・・ P 1～4
- ・表 1 ・・・ P 5～6

阿智村地域公共交通協議会

根羽村・平谷村地域 生活交通確保維持改善計画

<地域内フィーダー系統>

・生活交通確保維持改善計画（平成 28～30 年度）・・・P 1～6

・表 1 ・・・P 7

西部コミュニティバスを守り育てる会

豊丘村 生活交通確保維持改善計画

<地域内フィーダー系統>

- ・生活交通確保維持改善計画（平成 28～30 年度）・・・ P 1～4
- ・表 1　・・・ P 5

豊丘村地域公共交通会議

大鹿村 生活交通確保維持改善計画

＜地域内フィーダー系統＞

- ・生活交通確保維持改善計画（平成 28～30 年度）・・・ P 1～3
- ・表 1 ・・・ P 4

大鹿村地域公共交通会議

新規申請

喬木村 生活交通確保維持改善計画

<地域内フィーダー系統>

- ・生活交通確保維持改善計画（平成 28～30 年度）・・・ P 1～3
- ・表 1 ・・・ P 4

喬木村地域公共交通会議

4 報告事項

(1) 平成 26 年度運行実績について (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

路線バス

(単位：人)

路線体系	路線名	H26	H25	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
基幹	阿島線	22,322	18,825	3,497	118.6%
"	駒場線	205,375	192,787	12,588	106.5%
"	阿南線(阿南～飯田) ※温田線含む	47,587	44,550	3,037	106.8%
准基幹	遠山郷線	18,176	16,430	1,746	110.6%
"	平岡線	1,927	1,542	385	125.0%
"	市民バス循環線	86,377	84,094	2,283	102.7%
"	西部コミュニティバス	11,803	12,843	▲ 1,040	91.9%
"	大鹿線	8,418	9,092	▲ 674	92.6%
支線	市民バス大休線	4,062	4,525	▲ 463	89.8%
"	市民バス千代線	3,180	2,725	455	116.7%
"	市民バス久堅線	1,874	2,145	▲ 271	87.4%
"	市民バス三穂線	2,397	2,523	▲ 126	95.0%
"	上片桐循環線	10,030	7,360	2,670	136.3%
"	大島循環線	4,386	4,731	▲ 345	92.7%
"	生田循環線	6,226	6,663	▲ 437	93.4%
"	生田線	10,827	11,358	▲ 531	95.3%
"	部奈線	6,160	6,462	▲ 302	95.3%
"	泰阜線	867	830	37	104.5%
"	阿南町民バス	6,279	9,237	▲ 2,958	68.0%
"	伍和・智里東	7,214	6,885	329	104.8%
"	春日・智里西	5,920	5,321	599	111.3%
"	清内路	7,911	7,317	594	108.1%
"	浪合	2,101	2,219	▲ 118	94.7%
"	天龍村営バス	4,249	3,828	421	111.0%

路線バス

路線体系	路線名	H26	H25	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
支線	氏乗線	4,494	4,917	▲ 423	91.4%
"	喬木大島線	2,890	3,135	▲ 245	92.2%
"	堀越線	1,837	1,885	▲ 48	97.5%
"	佐原線	2,201	2,227	▲ 26	98.8%
"	壬生沢線	167	83	84	201.2%
"	福島線	296	293	3	101.0%
"	壬生沢福島線	519	610	▲ 91	85.1%
"	滝川阿島北線	1,050	671	379	156.5%
バス（福祉バス除く）		499,122	478,113	21,009	104.4%

乗合タクシー

路線体系	路線名	H26	H25	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
准基幹	上市田線	2,550	2,795	▲ 245	91.2%
	平岡線	4,066	3,832	234	106.1%
支線	かざこし線	2,234	2,141	93	104.3%
"	三穂線	3,405	3,770	▲ 365	90.3%
"	川路線	1,560	1,672	▲ 112	93.3%
"	竜東線	8,635	8,360	275	103.3%
"	遠山郷線	545	572	▲ 27	95.3%
"	上村線	203	239	▲ 36	84.9%
"	下栗線	318	287	31	110.8%
"	須沢線	136	151	▲ 15	90.1%
"	上島線	38	91	▲ 53	41.8%
"	八重河内線	1,312	889	423	147.6%
乗合タクシー（通学支援タクシー除く）		25,002	24,799	203	100.8%
合計		524,124	502,912	21,212	104.2%

〔考察〕

バス・乗合タクシー共に全体の輸送実績は増加している。運行当初である H22 年度の輸送実績と比較しても、路線バスは 96,502 人、乗合タクシーは 7,906 人の利用者の増加となっている。

昨年度同様 H26 年度も基幹路線・准基幹路線の輸送人数はほぼ増加しており、広域交通網の重要性が認識できる。特に駒場線では、12,588 人の前年度増となり、学生を中心とした利用者の増加が図られたものと推測される。

支線では、多少の増減はあるもののほぼ前年度並みの輸送実績を確保しており地域の移動手段として機能している。

乗合タクシーも同様に多少の増減はあるものの、固定客を確保し地域に根ざした公共交通を確立している。

今後も利用者の需要の把握や利便性向上を推進し更なる利用者の増加に努めたい。

(1-2) H26 年度学生・一般属性別輸送実績 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

(単位:人)

路線体系	路線名	H26				H25			
		学生		一般		学生		一般	
		輸送数 (4月~3月)	占有率	輸送数 (4月~3月)	占有率	輸送数 (4月~3月)	占有率	輸送数 (4月~3月)	占有率
支線	泰阜線	770	88.8%	97	11.2%	661	79.6%	169	20.4%
"	堀越線	381	20.7%	1,456	79.3%	433	23.0%	1,452	77.0%
"	佐原線	721	32.8%	1,480	67.2%	762	34.2%	1,465	65.8%
"	壬生沢線	158	94.6%	9	5.4%	35	42.2%	48	57.8%
"	福島線	275	92.9%	21	7.1%	293	100.0%	0	0.0%
"	壬生沢福島線	204	39.3%	315	60.7%	316	51.8%	294	48.2%
"	滝川阿島北線	971	92.5%	79	7.5%	636	94.8%	35	5.2%
	合計	3,480	50.2%	3,457	49.8%	3,136	47.5%	3,463	52.5%

〔考察〕

学生と一般利用者の属性を把握している南部地域及び北部地域の一部路線において利用層の分析を行った。

泰阜線、壬生沢線については、輸送数の増加と共に学生の利用者も多くなっている。堀越線、佐原線、壬生沢福島線においては、一般の利用者が多く生活路線として利用が定着しているものと推測できる。

一般利用者の利用が減少している路線においては、利用促進活動を積極的に行い利用者の増加に努めたい。

路線ごとにターゲットを絞って利用促進を展開するためにも、引き続き利用層の把握・分析の研究・検討を行う必要がある。

(1) 定期券、バス・乗合タクシー回数券販売実績について (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

定期券販売枚数 (系統別)

(単位: 枚)

路線名・系統名	H26	H25	比較	
	4月~3月	4月~3月	増減数	前年度比
駒場線	1,294	1,371	▲ 77	94.4%
駒場線飯田高校系統	517	539	▲ 22	95.9%
市立病院経由駒場線	230	205	25	112.2%
阿島線	41	31	10	132.3%
遠山郷線	113	89	24	127.0%
平岡線	55	32	23	171.9%
久堅線	0	8	▲ 8	0.0%
三穂線	0	1	▲ 1	0.0%
千代線	7	11	▲ 4	63.6%
合計	2,257	2,287	▲ 30	98.7%

定期券販売額

(単位: 千円)

路線名・系統名	H26	H25	比較	
	4月~3月	4月~3月	増減額	前年度比
飯田市 (一般)	2,540	2,794	▲ 254	90.9%
飯田市 (学生)	24,368	23,967	401	101.7%
合計	26,908	26,761	147	100.5%

〔考察〕

定期券の販売数は昨年とほぼ同様であった。学生定期の販売額としては400,000円ほど増加している。

駒場線の定期券販売数が減少した理由としては、3ヶ月定期の販売数が伸びたことにより販売数が減少したものと考えられる。

駒場線飯田高校系統の販売数が減少した理由としては、飯田女子高校の旧飯田工業高校仮校舎移転の影響が考えられる。

回数券販売額

(単位：千円)

	H26	H25	比較	
	4月～3月	4月～3月	増減額	前年度比
飯田市運行路線バス回数券 (一般) 販売実績	4,502	4,682	▲ 180	96.2%
飯田市運行路線バス回数券 (学生) 販売実績	6,392	5,387	1,005	118.7%
松川町運行路線バス回数券 (一般) 販売実績	4	4	0	100.0%
松川町運行路線バス回数券 (学生) 販売実績	177	50	127	354.0%
下伊那南部運行路線バス回数券販売実績	4,626	4,020	606	115.1%
阿智村運行路線バス回数券販売実績	2,384	2,117	267	112.6%
西部コミュニティバス運行路線バス回数券販売実績	756	922	▲ 166	82.0%
天龍村営バス神原線回数券販売実績	86	41	45	209.8%
大鹿村運行路線バス回数券 (敬老) 販売実績	142	130	12	109.2%
合計	19,069	17,353	1,716	109.9%

乗合タクシー回数券販売実績

(単位：千円)

	H26	H25	比較	
	4月～9月	4月～9月	増減額	前年度比
乗合タクシー回数券販売実績	2,070	2,023	47	102.3%

〔考察〕

回数券の販売数は前年度に比べ1,700,000円増加している。

学生回数券の販売増加に比べ、一般回数券の販売実績が比較的少ないことから、一般回数券のお得感を周知するなどの販売促進策を検討する必要がある。

平成 26 年度運行実績について (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

路線バス

(単位：人)

路線体系	路線名	H26	H25	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
基幹	阿島線	22,322	18,825	3,497	118.6%
"	駒場線	205,375	192,787	12,588	106.5%
"	阿南線(阿南～飯田) ※温田線含む	47,587	44,550	3,037	106.8%
准基幹	遠山郷線	18,176	16,430	1,746	110.6%
"	平岡線	1,927	1,542	385	125.0%
"	市民バス循環線	86,377	84,094	2,283	102.7%
"	西部コミュニティバス	11,803	12,843	▲ 1,040	91.9%
"	大鹿線	8,418	9,092	▲ 674	92.6%
支線	市民バス大休線	4,062	4,525	▲ 463	89.8%
"	市民バス千代線	3,180	2,725	455	116.7%
"	市民バス久堅線	1,874	2,145	▲ 271	87.4%
"	市民バス三穂線	2,397	2,523	▲ 126	95.0%
"	上片桐循環線	10,030	7,360	2,670	136.3%
"	大島循環線	4,386	4,731	▲ 345	92.7%
"	生田循環線	6,226	6,663	▲ 437	93.4%
"	生田線	10,827	11,358	▲ 531	95.3%
"	部奈線	6,160	6,462	▲ 302	95.3%
"	泰阜線	867	830	37	104.5%
"	阿南町民バス	6,279	9,237	▲ 2,958	68.0%
"	伍和・智里東	7,214	6,885	329	104.8%
"	春日・智里西	5,920	5,321	599	111.3%
"	清内路	7,911	7,317	594	108.1%
"	浪合	2,101	2,219	▲ 118	94.7%
"	天龍村営バス	4,249	3,828	421	111.0%

路線バス

路線体系	路線名	H26	H25	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
支線	氏乗線	4,494	4,917	▲ 423	91.4%
"	喬木大島線	2,890	3,135	▲ 245	92.2%
"	堀越線	1,837	1,885	▲ 48	97.5%
"	佐原線	2,201	2,227	▲ 26	98.8%
"	壬生沢線	167	83	84	201.2%
"	福島線	296	293	3	101.0%
"	壬生沢福島線	519	610	▲ 91	85.1%
"	滝川阿島北線	1,050	671	379	156.5%
バス（福祉バス除く）		499,122	478,113	21,009	104.4%

乗合タクシー

路線体系	路線名	H26	H25	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
准基幹	上市田線	2,550	2,795	▲ 245	91.2%
	平岡線	4,066	3,832	234	106.1%
支線	かざこし線	2,234	2,141	93	104.3%
"	三穂線	3,405	3,770	▲ 365	90.3%
"	川路線	1,560	1,672	▲ 112	93.3%
"	竜東線	8,635	8,360	275	103.3%
"	遠山郷線	545	572	▲ 27	95.3%
"	上村線	203	239	▲ 36	84.9%
"	下栗線	318	287	31	110.8%
"	須沢線	136	151	▲ 15	90.1%
"	上島線	38	91	▲ 53	41.8%
"	八重河内線	1,312	889	423	147.6%
乗合タクシー（通学支援タクシー除く）		25,002	24,799	203	100.8%
合計		524,124	502,912	21,212	104.2%